

ヘルスケア領域への新規事業参入、
同領域内における事業拡大に向け、
既存データを活用した新事業創出を支援

ヘルスケア領域データ活用ビジネス創出コンサルティング

人生100年時代を見据えて求められているのは、誰もが安心して医療・介護サービスを受けられる社会の実現です。しかし日本は、社会保障費の急増、医療・介護人材の不足などの社会課題を抱えています。この解決に向け、医療データの標準化、電子処方せんの導入、データヘルスやPHRの普及・推進など、ヘルスケアデータを活用した施策に注目が集まっています。

こうした動きは、医療・介護、製薬といった従来のヘルスケア産業の枠を超え、これまで関係が薄かった他業界にも広がり、自社の顧客データとヘルスケアデータを掛け合わせた事業の創出など、新たな試みが散見されています。ただし、医師法・薬剤師法や薬機法など、他業界とは異なる複雑かつ高い制度の壁があり、これに的確に対応しなければ、新規事業の成功はおろか、本業へのレピュテーションリスクも発生するでしょう。

日立コンサルティングは、ヘルスケア領域への新規事業参入を支援してきた実績・経験を基に、データを活用した新事業の創出でヘルスケア領域への進出や同領域内における事業拡大をめざす皆さまを支援。貴社の既存・潜在顧客への価値提供に貢献します。

PHR：Personal Health Record
薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律



自社のアセットを活用した
既存事業とのシナジー創出

ヘルスケア領域における
規制・政策、制度への理解

異業界からの事業参入、
同領域内における事業拡大に必要な要素

確実なセキュリティの確保

既存事業とのシナジー創出に向けた新規事業の構想策定を支援

貴社のケイバリティを最大限に活用するため、既存事業、保有データやシステムなどのアセットを分析。異業界からの参入、同領域内における事業拡大を実現する既存事業とのシナジー創出に向けた新規事業の構想策定を支援します。



規制や政策、制度に対応した事業・サービスの具現化を支援

ヘルスケア領域で事業・サービスを展開するためには、各種規制・政策・制度が大きく影響します。特に異業界からの新規参入の場合、これらの勘所をしっかりと押さえることが必要です。ヘルスケア領域における知見の豊富なメンバーが、各種制度に的確に対応した事業・サービスの具現化を支援します。



セキュリティを確保した事業・サービスの立ち上げを支援

データを活用した事業の実現には、セキュリティの確保が必須です。特にプライバシー性の高いヘルスケアデータを安心・着実に取り扱うことのできるシステムが欠かせません。そこで、個人情報の匿名化技術など、高度なセキュリティ技術を有する日立グループのアセットも活用し、プラットフォーム実装から事業・サービスの立ち上げまでを支援します。



こんな課題をお持ちのお客さまにお勧めします

参入、拡大における課題	<input checked="" type="checkbox"/> 個人や地域を対象とした既存事業とのシナジー創出とさらなる成長に向け、ヘルスケア領域に参入したい <input checked="" type="checkbox"/> 保有している健康診断結果やウェアラブル機器の情報を活用して、事業領域を拡大したい <input checked="" type="checkbox"/> 医師法・薬機法などの複雑な規制・政策・制度と、3省2ガイドライン、HL7などの専門用語の理解に苦戦している
サービスの企画・設計における課題	<input checked="" type="checkbox"/> 新事業を検討する際の法制度の影響範囲が分からず、影響する場合のビジネスモデルが具体化できない <input checked="" type="checkbox"/> 企画・設計した内容が、規制・政策・制度などに対応しているか、検証できない
システム構築の実装上の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 具体的にどのような要件が必要なのかが分からず、開発ベンダーの提案の妥当性が判断できない <input checked="" type="checkbox"/> ヘルスケア領域の要件の確保とセキュリティの担保が両立できているかどうか不安

ヘルスケア領域特有の課題

規制・政策・制度

- 医師法・薬剤師法などの専門職法制
- 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）
- 個人情報の保護に関する法律（要配慮個人情報）

ガイドライン・規格

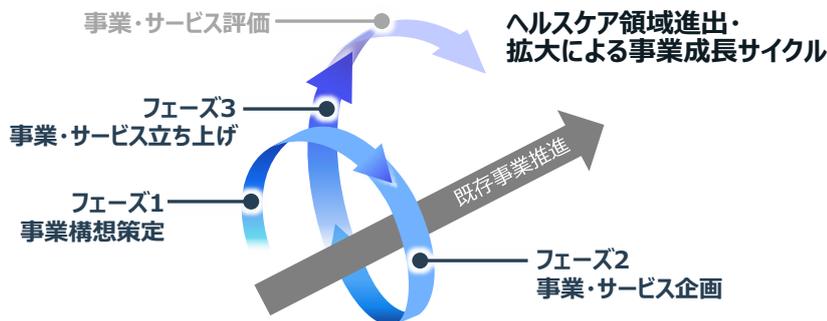
- 3省2ガイドライン・PHR基本的指針（EMR/EHR/PHRの区分によって異なる要件）
- 医療分野の標準データ規格（例：HL7 CDA、FHIR）

EMR：Electronic Medical Record、EHR：Electronic Health Record、HL7：Health Level 7、CDA：Clinical Document Architecture、FHIR：Fast Healthcare Interoperability Resources

コンサルティングアプローチ

ヘルスケア領域においてデータ活用ビジネスを実現する際に必要な各種法制度やガイドライン・標準データ規格に関する知見、新規事業を企画するスキルを生かし、ヘルスケア領域への新規参入・領域拡大による既存事業の成長促進を支援します。

日立グループが保有する個人情報処理技術、プラットフォーム構築スキルなどのアセットの活用で、事業・サービス立ち上げフェーズまでの支援もお任せください。



フェーズ1 事業構想策定	フェーズ2 事業・サービス企画	フェーズ3 事業・サービス立ち上げ
<ul style="list-style-type: none"> ● ヘルスケア市場の動向、データ活用事業のターゲット顧客、既存事業構造の調査・分析 ● 取り扱うヘルスケアデータ・技術、活用方針を整理した事業構想、準拠すべき法令への対応方針を整理 ● 事業企画から事業開始、事業拡大までを対象に、ロードマップを策定 	<ul style="list-style-type: none"> ● サービス内容・提供価値、ターゲット顧客、収益モデル、ビジネスエコシステムを既存アセットの活用も視野に入れつつ具体化 ● 事業・サービスの実現コンセプト、システム・プラットフォームのアーキテクチャを整理 ● 実現に必要な法令準拠事項への対応など、アクションプランを整理 	<ul style="list-style-type: none"> ● アクションプランに基づくPoC計画と実行、契約スキーム、利用規約、サービス運営ドキュメント作成など、サービス立ち上げに必要な施策を支援 ● 体制整備、システム・プラットフォーム構築状況の管理など、PMOを支援

PoC：Proof of Concept
PMO：Project Management Office

※フェーズ単位でのサービス提供も可能です。

ヘルスケアデータ活用の新たな事業化事例

地域社会インフラ事業者の例（地域電力・ガス会社、金融機関など）

事業化の課題	コンサルティング内容
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ヘルスケアデータを活用した新たな事業を立ち上げ、顧客への提供価値向上を図りたい。 ✓ これまでに培ってきたブランドイメージ、顧客の信頼を損なうことは許されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安心・信頼をテーマに、個人情報保護法や3省2ガイドラインなどに準拠したサービス要件、顧客との契約スキームを具体化 ✓ サービスを実現するプラットフォームアーキテクチャの構想を策定 ✓ 他サービスとの連携を前提に標準データ形式への対応方針を整備